令和８年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第 19 回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和８年 10 月 30 日（金）、31 日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて第 19 回研修を行いました。30 日は曇り一時雨で朝から肌寒い天候でしたが、31 日は気持ちの良い秋晴れに恵まれ、絶好の研修日和となりました。

講義では、大友令史氏を外部講師に迎え、病害虫・雑草の総合管理について学びました。大友氏からは、総合防除の実践に欠かせない異常の早期発見、正しい診断、農薬の適正使用の３点が重要であるとお話しいただきました。質疑応答では、受講生から「病害虫や農薬を調べるための情報源」や「薬剤抵抗性がつきやすい害虫への防除方法」などの質問が寄せられ、活発な学びの場となりました。

実習では、初めにパイプハウスにおいてトマトを収穫したあと、トマトの誘引器具や隔離床などの片付けを実施しました。これまで管理してきたトマトを片付けるにあたり、受講生からは「片付けるのは少し寂しい」といった栽培終了を惜しむ声や、「これまで生きてきた中で一番トマトを食べた」とこれまでの豊富な収穫を振り返る声も上がりました。

次に、露地ほ場においてはくさいを収穫したあと、一輪車で堆肥運搬と三角ホーを使って均一に地ならしを分担して行い、息の合った作業で実習を終えました。

次回の第 20 回研修は、11 月７日（土）に、いわて若江農園への視察研修と、コテージむら実習ほ場での野菜収穫を実施予定です。



講義の概要説明をする大友氏


トマトの片付けの様子


はくさいを収穫する受講生


ほ場に散布した堆肥を三角ホーで均す受講生

公益社団法人 岩手県農業公社